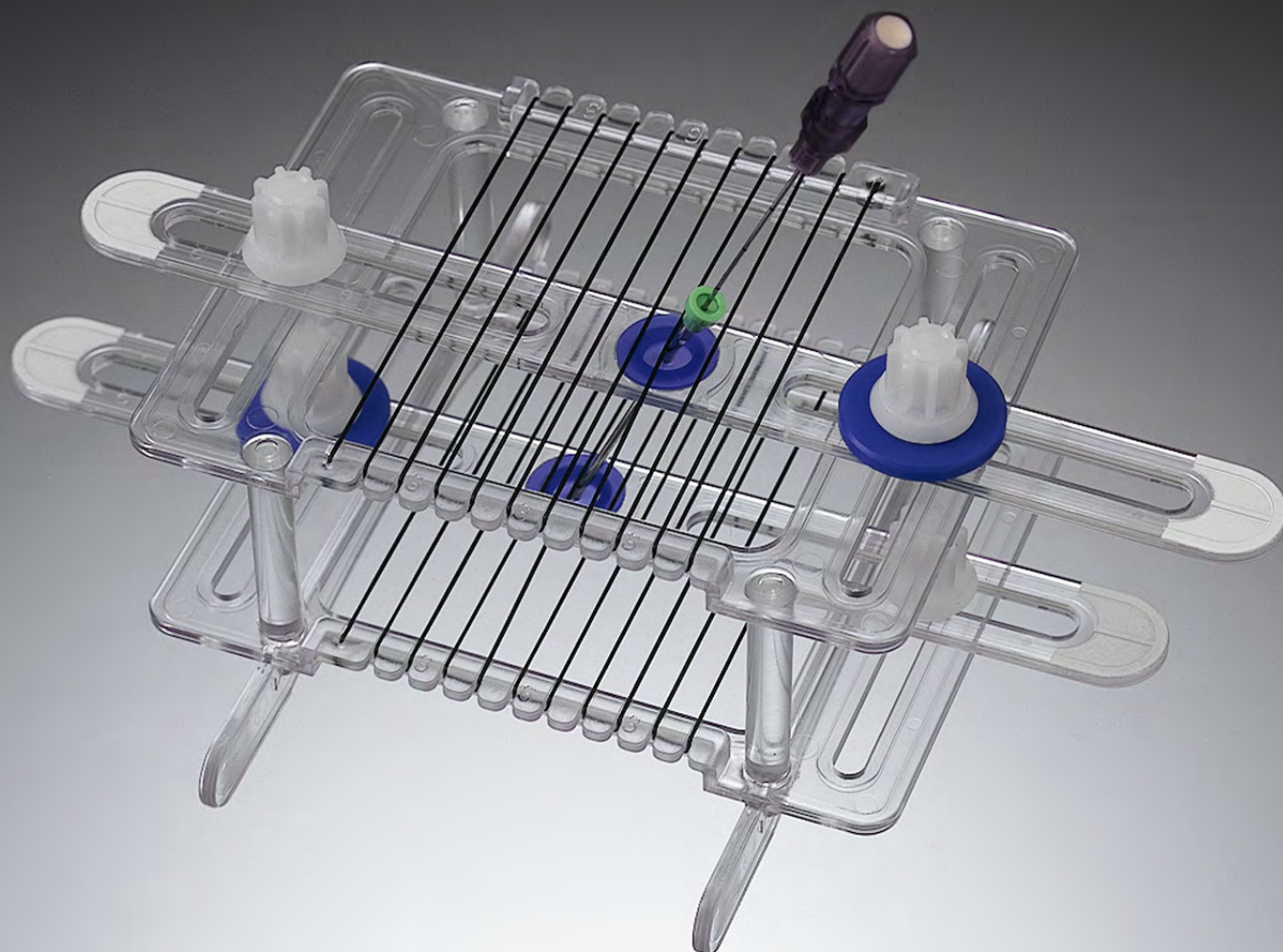


CT下穿刺用補助デバイス

KUナビゲーター ターグ TARG

KU NAVIGATOR



2

画像診断 I 「生検・造影」

KUナビゲーターTARGは、CTガイド下で穿刺を行う際、正確な穿刺を行う目的で開発されたデバイスです。
このデバイスを用いることによって、目標部位の正確な穿刺が可能になります。

主な症例：CTガイド下における

- ・腰部交感神経節ブロック
- ・胸部交感神経節ブロック
- ・腹腔神経叢ブロック
- ・肺生検
- ・エタノール注入療法
- ・PMCT

など



写真提供 医療法人 慶友会 守谷慶友病院
院長 石井 慶太先生
放射線科 高橋 寿夫技師長

haccco®

心のかよう医療器ハッコー | 製品の仕様・外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

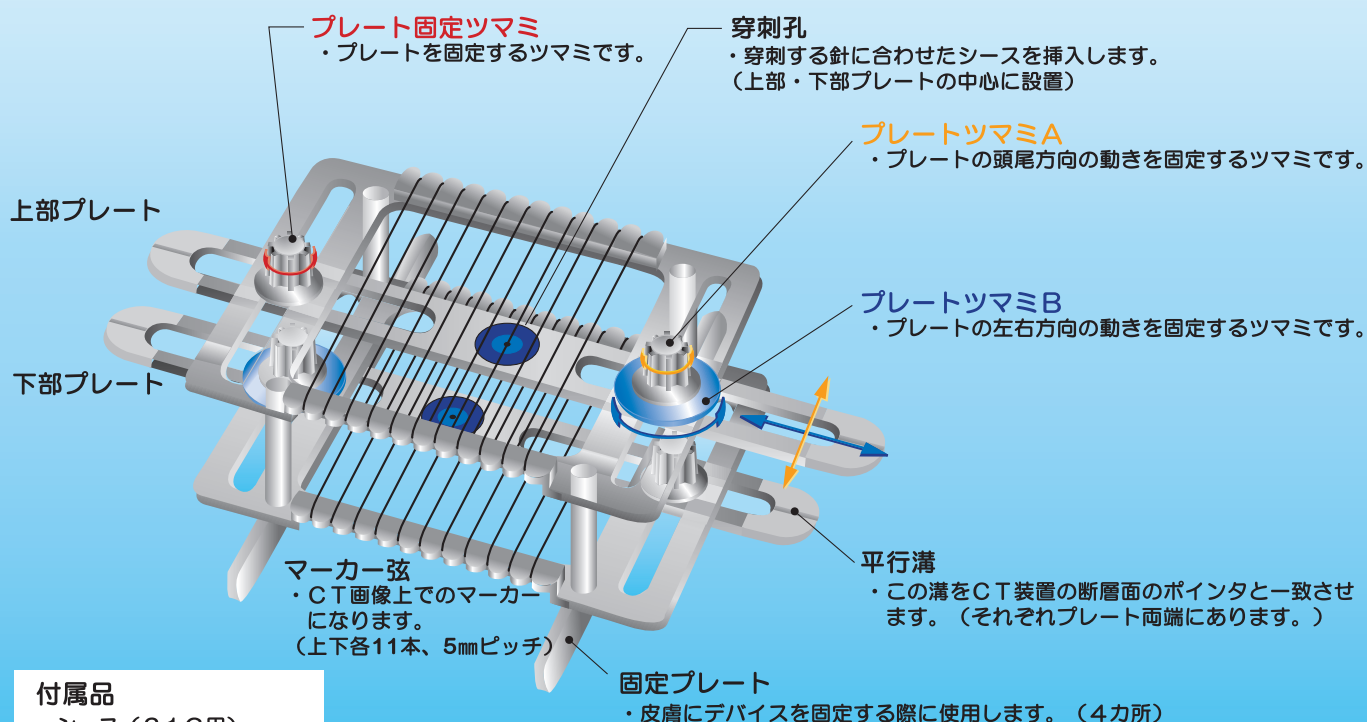
CT下穿刺用補助デバイス KUナビゲーター TARG

各部の名称と働き

製品コード：29050510

2

画像診断Ⅰ「生検・造影」



目標部位決定から穿刺までの手順

- ① 穿刺に適切なCT像を決定する。
- ② 決定した位置でガントリー内のポインターにより、皮膚にマーキングをする。(photo 1)
- ③ ガントリーから患者を出し、皮膚消毒を行う。
- ④ マーカー弦がマーキングと直行するようにKUナビゲーターを固定する。(photo 2)
- ⑤ ①で決定した位置まで患者をガントリー内にもどし、CT像を再度撮影する。
- ⑥ CT画像上(CRT上)で目標部位からの最も穿刺に適した刺入ルートを決定する。局所麻酔を行う。
・刺入ルートは、目標部位からKUナビゲーターの上プレートを通るように距離測定用の直線を設定することにより決定する。
- ⑦ 刺入ルート上にある下部マーカー弦の位置(右あるいは左からの数)と上部マーカー弦の位置(右あるいは左からの数)を記録する。
- ⑧ 刺入ルート上で、皮膚面から目標部位までの距離を計測する。
- ⑨ 下部プレートの頭尾方向の位置決定と固定をする。
・ガントリー内のポインターと下部プレートの平行溝を一致させ、プレートツマミAで固定する。(photo 3)
- ⑩ 上部プレートの頭尾方向の位置決定と固定をする。
・ガントリー内のポインターと上部プレートの平行溝を一致させ、プレートツマミAで固定する。(photo 3)
- ⑪ ⑦で記録した位置に上部プレート、下部プレートの穿刺孔をスライドさせプレートツマミBで固定する。
- ⑫ この段階でプレート固定ツマミで上下のプレートを完全に固定する。
- ⑬ 穿刺孔にシースを挿入し再度CT像を撮影する。画像上で刺入ルートを確認する。
* 21Gなどの穿刺針で深部の穿刺する場合、スパイナル針18Gを誘導針として使用するとより正確な穿刺が可能となることがあります。
- ⑭ シース長と⑧で計測した距離を加え、穿刺針にマーキングする。
- ⑮ 患者をガントリーから出し、シースをガイドとしてマーキングした位置まで穿刺針を刺入させる。
- ⑯ 患者をガントリー内に戻し、CT像を撮影する。画像上で穿刺部位の確認を行い、目的とする手技を施行する。(photo 4)



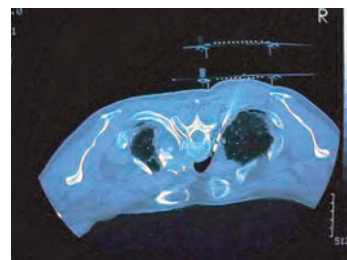
(photo 1)



(photo 2)



(photo 3)



(photo 4)

製品に添付しております取扱い説明書並びに使用上の注意をお読み頂いた上でご使用ください。

販売窓口 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目42-6 南江堂ビル TEL (03)5804-8500
ホームページ <https://www.hakko-medical.co.jp/>

札幌 (011)215-1530	横浜 (045)954-2111	名古屋 (052)914-8500	福岡 (092)411-4100
仙台 (022)257-8502	長野 (026)276-3083	大阪 (06)6453-9102	熊本 (096)288-4690
柏 (04)7131-8580	金沢 (076)225-8560	岡山 (086)243-3985	本郷商品管理センター
本郷 (03)5804-8500	静岡 (054)282-4185	松山 (089)935-8517	(03)5840-8502

製造販売

株式会社 八光
メディカル事業部

hakko®

〒389-0806 長野県千曲市大字磯部1490番地

2202(A)